

(報告)

オランダの博物館学研究センター—ラインワルトアカデミー

Reinwardt Academy, Institution for Museological Studies in Netherlands

水 嶋 英 治
Eiji MIZUSHIMA

ヨーロッパの研究機関概観

ヨーロッパの博物館学研究センターを見渡すと幾つかの専門機関がある。たとえば、西欧では、イギリスのレスター大学、フランスのルーブル美術館大学、パリ大学、ラ・ビレット、イタリアのローマにある ICCROM、東欧では、ユーゴスラビアのザグレブ市にある博物館ドキュメンテーションセンター、チェコスロバキアの J. E. プルキーネ大学、ドイツの博物館学研究所などがあげられる(注1)。

さて、ヨーロッパの博物館学研究状況を知る上でも、また博物館学研究の射程範囲をどのように定めているのかを知る上でも、特定の研究機関をとりあげて詳細に分析してみることも無駄ではあるまい。

本稿では、オランダのラインワルトアカデミーを事例研究の対象として報告したい。

ラインワルト アカデミー

ライデン駅から徒歩10分、オランダ独特の風車を前にして、運河と運河にはさまれたのどかな田園の中にこのアカデミーはある。

正式名称ラインワルトアカデミー(Reinwardt Academy)通称ライデンアカデミーはオランダにおける博物館学分野の教育センターであり、博物館を応用科学として研究をすすめる高等研究センターである。設立は比較的新しく1976年である。

2つのコース

本アカデミーには2つのコースがある。ひとつは短期の国際コースであり、もう一つは4年制の専門コースである。

(i)博物館学研究国際コース(短期)

毎年2月から6月までの4か月半、オランダ国外の研究者や博物館学を専攻する学生・研究者のためのプログラムである。授業は英語で行われる。対象はすでに実務についている博物館職員、関連分野での従事者、つまり

基礎知識をすでに有し特定分野で技術を有している者である。

コースは実務上直面している専門的問題に焦点が当てられており、この問題解決の援助を行うための新しい方法を紹介するためにコースがある。その意味では、このコースは実務に重点を置いている。

(ii)4年制専門コース(長期)

このプログラムの目的は、博物館をはじめとする文化施設・関連機関に従事する管理マネージメントできる学生、職員を養成することにある。

対象は、博物館学分野での知識と博物館実務の最近の成果や技術を修得したい学生のために設けられている。このコースは、序論、講義、実務研修、評価の4つに分けられている。以下、専門コースの内容を見てみよう。

講義内容

本アカデミーの入学案内書では、博物館学を次のように定義している。

「博物館学、つまり博物館の科学は学際的、科学的アプローチによって博物館運営をふくむ諸活動の基礎と博物館の背景にある関連諸問題を考察し、同時に、技術、方法論について研究を行う学である」

アカデミーの講ずる内容を要約することは不可能であるが、以下あえて要約すると次のようになる。

(I)博物館学

- ①博物館学概論：専門用語、博物館の分類、博物館の組織、情報源としての資料
- ②博物館学持論：美術館、自然史博物館、技術博物館、歴史博物館、人類学博物館
- ③歴史的博物館学；博物館学史
- ④博物館の管理；博物館法
- ⑤博物館と文化のアイデンティティー；発展途上国における博物館

(II)文化のオリエンテーション序論

*みずしま えいじ

連絡先 科学技術館

〒102 東京都千代田区北の丸公園2-1

歴史学概論, 美術史, 文化哲学, 科学的研究方法論

(III) コレクションマネジメント

- ① 博物館コレクションの登録方法 (マニュアル, 自動化)
- ② ドキュメンテーション
- ③ 資料の保存

(IV) 保存学

- ① 保存の条件と一般原理
- ② 光
- ③ 微少気候の制御
- ④ 物性論, 化学
- ⑤ 研究と倫理

(V) マネージメント

- ① 企画, 予算管理
- ② マーケティング
- ③ 人事
- ④ 広報

(VI) コミュニケーション論

- ① 博物館の教育的利用
- ② 教育的展示設計
- ③ 入館者調査
- ④ 評価研究

(VII) デザイン

- ① 2, 3 次元的デザインテクニック
- ② 写真
- ③ オーディオ・ビジュアルプログラムの制作

実務研修

実務研修はオランダ国内および海外の博物館において実施される。ここでの目的は、諸理論の実際の現場にて応用し、実践的経験を積むことにある。コースは3つに分類されている。

① 博物館コレクションの登録

登録方法とドキュメンテーション, 文書管理, 保存 (1週間に2回, 14週)

② 総合実務研修

この期間では課題が各自に与えられ, 保存の研究や展示制作プロジェクトが行われる。

(1週間に2回, 14週, 16週目は全日)

③ 試験準備プロジェクト

研修の理論面を検収した後, 実技試験を受ける。このプロジェクトを通して実務面での技能を示すことになる。(21週)

履修期間

4年間のうちカリキュラムを次のように3期に分けて

いる。

第1期(56週間)は, すべての学生に対して博物館業務の概論を講義する。この期間に基本的な知識や技術を修得し, 学期末に実務研修を行う。

第2期(42週間)は, 修得した知識をもとに, 実践的経験を踏む。この実務を通して諸理論の理解を深めていく。この後, 3か月間, 博物館での現場研修を行う。

第3期(21週間)は, 試験にパスした後, 特定の研究テーマを専攻し, 博物館業務を完全なものとする。

講師

ここには常時15名の講師がいる。Terminologieを著した博物館学国際委員会の委員長 Peter van Menshをはじめ, 所長の F. Schouten (教育デザイン) 等が講じている。以下, 講師の担当と講師数を見ると, Cultural Management (2名), 教育デザイン (2名), 博物館学 (1名), 登録ドキュメンテーション (3名), 博物館研究・フィールドリサーチ (1名), 展示設計 (1名), 展示制作 (1名), 保存学 (1名), 図書館学 (1名), 広報・マーケティング (1名), コースコーディネータ (1名) となっている。

使用テキスト

このアカデミーではどのようなテキストを使用しているのか, 興味あるところである。ここではアカデミーが編集出版した次のテキストを基本文献として用いている。Peter van Mensch 編 The management needs of museum personnel (1984)

Jan Verhaar 著 Management and Organization (1986)
Piet. J. M. Pouw, Frans F. J. Schouten 共著

Exhibition design as an education tool

Ineke Ravestijn 編

Four Evaluation-studies in two museum in Leiden by students of the Reinwardt Academy (1984)

Peter van Mensh 著 Neder Landse museumterminologie (住所: Reinwardt Academie, Van Den Brandelerkade 24a 2313 GW, Leiden, Nederland (Tel) 071-132241)

(参考文献)

Studiegids Reinwardt Academie 編 Vierjarige cursus 1987/1988

Johanne Landry, Jean-Paul Natali 著

La formation en museologie, Education Permanente No.82 Paris 1986

(注1) スミソニアン協会と ICOM から世界の博物館学研究機関について出版されている。

Office of Museum Programs, Smithsonian Institution
(Washington, D.C)/ICOM Committee for the Training
of Personnel (Leicester, England)発行
Museum Studies International 1984